

ぎやらりー

わ

NO.66

2014年4月号



●KSC記念の桜咲く
(岡本紘一撮影)

編集・発行 NPO法人グループわ(堺 汎) ホームページ <http://www.wa-net.jp>
〒651-1102 神戸市北区しあわせの村シルバーカレッジ内 TEL078-743-8101 FAX743-3830



コマ回し体験を楽しむ親子連れ(3月30日木村成男撮影)

地域の皆さんと交流ライブ

カレッジに子供たちの歓声が弾けたー第4回「地域交流と文化の祭典」が3月30日、カレッジホールで開催され客席を埋めた350人が、子供たちのダンスや演奏、グループ〈わ〉のコーラスや銭太鼓、マジックなどを楽しみました。

今年は舞台でのパフォーマンスのほか、新たに

家族連れを対象に大正琴やフラ、朗読などの体験教室を設けたこともあって、例年をしのぐ来場者で賑わいました。この祭典は、文化部会が総力をあげて取り組んでいるもので、部会傘下17グループ、地域の子ども団体4グループが参加しました。

(広報・井口久美子) =4面に関連記事



ボランティアの
輪をひろげよう

66
号の
総
務

第5次東北支援チーム7月に派遣

2~3面

功労表彰者決まる・・・ 5面

活動レポート・・・ 8面

福祉ボランティア大会・6面・

カレッジだより・・・ 9面

連載「花実の森」最終回 7面

WAからのお知らせ 10面

「わ」の総会
5月15日に

7月初め女川・名取で交流会

東北支援5次チーム 近くメンバー公募

グループ〈わ〉は第5次東北支援チームを7月2～7日の日程で女川・仙台・名取へ派遣します。派遣人数は8人程度。第2～4次で顔なじみになった小学校・保育所・仮設住宅を再訪、昔遊びや七夕飾り制作・スポーツ大会、手料理交流会を実施します。メンバーは5月中旬に公募します。（広報・南形徹）

第5次チームも、しあわせの村の福祉振興協会・仙台の豊齢学園と共同歩調をとろうと、日程・訪問先・活動内容を調整しており、5月中にはプランを策定。同時に派遣メンバー4、5人を公募、面談して決定します。派遣費用は福祉医療機構の助成金や皆さまから寄せられた「サポート募金」を活用します。

女川・名取へは第2次～4次チームも訪れています。仮設の皆さんや子供たちとも顔なじみになっていることや、現地の学校、復興センター関係者からも「毎年来てほしい」との要請があり、今回も訪問することになりました。

仙台豊齢とも協働で

豊齢学園は仙台の生涯学習施設。第4次で料理・スポーツ・七夕飾り制作などを一緒にやったところ好評で、第5次も連携することにしたものです。仙台豊齢は、3・4月が春休みなので、詳細は未定です。

第5次支援活動については、1月の理事会で派遣を決定。東北プロジェクトチーム（幹事・海野龍英）が派遣準備や仙台側との調整に当たっています。

【主な訪問予定先と活動内容】女川小・女川第1・第4保育所で昔遊び、七夕飾り制作。女川清水仮設住宅で手料理交流会。女川体育館でディスコン（軽スポーツ）大会。名取市閑上小・増田保育所で昔遊び。福祉振興協会とは7月3日に女川で、4日に名取で、一緒に活動する予定です。

震災イベントに〈わ〉が出演

〈神戸から東日本へ〉をテーマに、神戸の震災支援ボランティア活動を紹介するパネル写真展が、3月10日から28日まで市民福祉交流センター（中央区）で開催され、連日、市民でにぎわいました。展示は、支援活動を激写した約50枚の写真で、グループ〈わ〉、



神戸・市民交流会など5団体が提供。ボランティア活動の大切さを訴えています。

初日の10日には実演ライブがあり、〈わ〉の東北支援チームのメンバーが、三味線・大道芸・マジック・銭太鼓を披露。盛んな拍手を浴びていました。この後、震災を読みつなぐ会KOBÉが東北の子供たちや被災者の作文を朗読。「花は咲く」を参加者全員で歌って散会しました。

この催しは、神戸市社会福祉協議会が主催。実演ライブには〈わ〉から次のメンバーが参加しました。南形徹・海野龍英・波多野武郎・増金スミ子・片岡隆夫・横井幸雄・井上英男・古後健一・三浦良子・南形公子・阿部和子・筒井ちなみ・林弥生・片山成子・味口ヒサ子・木下完治・久保正志・橋野美子。

（敬称略）＝①の写真は神戸市社協で行われた震災支援活動ライブで演奏する銭太鼓グループ

●東北支援プロジェクト26年度メンバー

グループ〈わ〉の東北支援活動は26年度も継続します。本部にプロジェクトチームを設置、支援チーム派遣や震災関連イベントの立案・準備にあたります。26年度のプロジェクトメンバーは以下の皆さんです。▽堺汎・古後健一・海野龍英・南形徹、内村ナナ子（以上わ本部）、大澤貞男（生13）・波多野武郎（食16）・橋野美子（一般）・増金スミ子（福11）



（3月10日神戸市社協で）震災支援活動のパネル展示

〈わ〉と芸術工科大が連携活動

神戸芸術工科大から3月下旬、社会貢献活動についてグループ〈わ〉に相談があり、趣旨に賛同して協力することになりました。工科大では26年度から1・2年生を対象に、社会や地域との結びつきを深める12個の「新プログラム」（ボランティア×社会貢献×芸術工学）が導入され、このうちデザイン学部ビジュアルデザイン学科・かわいひろゆき教授から〈わ〉に打診がありました。グループ〈わ〉としては、各種イベントやサークル活動を理解してもらい、いずれ共同で活動できればと考えています。大学との連携は常盤大との〈かえっこバザール〉の例があります。5月下旬に工科大と第1回目の話し合いを予定しています。

サポート募金のご報告

（1月1日～3月31日分・敬称略）

26年度の会費納入に際し、次の方々・グループからサポート募金をいただきました。ご協力ありがとうございます。

板谷純子（生18）1万円、深川久美子（音5）3千円、岡馨（国17）500円、足立幸夫（生5）千円、井上千加子（園15）3千円、坂本勉（食7）千円、廣地良子（音12）千円、山崎昭夫（生16）千円、水嶋和信（生12）千円、根角光宣（食20）500円、天野征一郎（福17）500円、庄田洋一（福17）500円、山崎節子（生9）千円、福田慶子（生11）3千円、川染美智子（美16）5千円、谷河博司（福13）千円、胤艸武宏（福1）3千円、芝崎怜（国17）2千円、片田宏（生16）千円、太田治彦（生17）1,500円、沖本死辺子（国17）千円、横井正昭（国6）千円、小堀直（音6）千円、池田八郎（生17）1,500円、浅原サチ子（福8）千円、松岡泰彦（園7）2千円、秋山静司（生17）千円、大久保洋子（福8）3千円、中川朝（福1）2千円、山口高正（福10）千円、川崎信行（福17）千円、柳田千恵子（生16）千円、宮城智子（音2）3千円、高津尚之（福17）3千円、岡田泰明（一般）3千円、宮崎芳江（生12）千円、片岡隆夫（国17）千円、細野恵久（福3）5千円、井関一三（福5）5千円、清水英暢（美12）5千円、野村邦子（美15）千円、野村英勝（生16）千円、田中恵子（食16）千円、田實光男（国6）千円、片山洋子（生16）千円、大木朋子（音17）千円、青野義夫（国11）2千円、井上美保子（食11）2千円、上山武（園17）5千円、黒田幸子（食11）3千円、道井紅（福17）2千円、前阪祐子（福17）千円、青木のり子（国17）千円、重松豊彦（国9）千円、水上桂子（音17）5千円、芦田義和（生15）5千円、待鳥孝夫

（生13）5千円、小島光子（生15）3千円、平尾順子（福3）2千円、釜田弘（国3）3千円、迫田純夫（国10）2千円、岸本真理子（食17）1,500円、山本都子（生17）1,500円、鷲尾二郎（生17）千円、木田育義（生16）千円、中野輝寿（国16）千円、中野邦子（生16）千円、大内節子（音17）千円、鈴木静江（生13）千円、飯川泰郎（国12）千円、則武満智子（食13）千円、白井かほる（福13）千円、冠野直美（食13）千円、中村豊和（国11）千円、久保麗子（生12）2千円、西馬光博（国17）3千円、成瀬和夫（生12）千円、津田彰子（福1）3,500円、相馬博（国7）千円、大浅田陽子（食5）千円、井本澄代（生16）2千円、市井浩（国17）2千円、横井敏彦（国17）3千円、武田勲（生12）5千円、小原国彦（音17）千円、奥村佐智子（生16）千円、藤原治（食17）千円、安岡利美（食14）千円、岸本吉史（福14）千円、加藤悦子（福3）2千円、朝尾素子（食7）千円、長谷川洸士（国11）1,500円、原田隆弘（福16）3,500円、菅田忠志（生11）千円、福島康弘（生11）1,500円、有田兼光（生14）千円、川口紘司（食17）千円、小原美代子（国15）2千円、水野俊夫（国14）千円、三宅敏夫（美8）千円、稲上幸子（音17）千円、中谷昭子（福12）千円、野鳥と自然観察会（1万円）、谷口博（生4）千円、市岡克子（福17）5千円、小坂芳弘（音8）3千円、戒井正俊（生17）千円、富永征児（園7）500円、前田恵子（生17）千円、辰巳陽子（生17）千円、片岡千鶴（生16）千円、宮田幸長（美17）500円、広畑朱美（食10）3,000円、中井文太郎（生14）5千円、山中幾江（生14）千円、内田和喜子（福14）千円、林宏文（生17）5千円、北村洋（生17）千円、田路義弘（生17）千円、橋本千代子（生16）千円、櫻井幸子（生16）2千円、井口久美子（福16）1万円、木村成男（園16）千円、石河正博（生15）5千円、南形徹（生14）3千円、小林精一（福9）千円、高木良治（福10）2千円、金井徳子（国16）3千円、山下博邦（福17）8千円、村田耕作（福17）千円、上辻節子（食16）2千円、田中昌一（食16）千円、柴牟田節子（食16）2千円、加藤武久（食16）1,500円、由井博子（食16）1,500円、大久保弘美（食7）千円、西村和子（音17）2千円、衣笠年子（国12）2,500円、五味正昭（福7）千円、常信久子（音5）3千円、五味登美子（生2）千円、谷口美千代（福16）千円、村岡孝（音13）2千円、榊原弥栄子（生13）5千円、南原民子（国10）2千円、坂上千歌子（音9）千円、萩原允子（音1）1,500円、内田たみ子（福10）5千円、三宅みどり（福15）3千円、田原厚子（園5）500円、西村勝（一般）1,500円、長江修司（音16）3千円、井内祐一（生10）1,500円、石古隆信（福12）3千円、植松英子（国15）3千円、植村勝（福14）3千円、廣田成代（国11）千円、北山秀俊（国9）千円、柳川瀬淳一（国13）千円、小山カズ子（福16）2千円、安田夫市（福17）2万円、後藤拓代（音13）1,500円、滝谷グループホーム 千円、乙原勲雄（園17）千円、楊錦華（国17）1,500円、吉岡啓次（生17）3千円、臼井八枝子（生14）千円、磯部俊夫（園8）1,500円、杉原愛子（福3）500円、江本和嘉子（食7）1万円、中村知賀子（食9）千円、堺寿代（音9）2千円、堺汎（園15）5千円、脇田幸子（生16）3千円、藤原友子（食1）千円、萩原一宏（生11）千円、上野堯（園6）2千円、横井幸雄（福11）5千円、藤本一子（食7）3千円、赤鹿武敏（生12）千円、形部康子（福10）5千円、中山昌三（生16）千円、森江鉄雄（食14）5千円、北山悦子（食14）500円、吉岡康（生14）2千円、木村敏夫（国12）千円、土井四郎（食12）千円、津川静代（生6）1,500円、山田智恵子（食17）千円、環境未来館募金箱 5,200円、東北支援プロジェクトチーム 3,420円、西村良子（国17）千円、佐藤昌子（食10）2千円、小畑章（福11）千円、鐘築重治（国際7）3千円、岡崎彰子（園13）千円、堀緑（音17）千円、福井春子（音9）千円、岡本千津子（食10）千円、久保正志（国14）3,000円＝計201件、438,120円

子どもも大人も弾ける笑顔

第4回「地域交流と文化の祭典」には、初めて来場者の体験コーナーが設けられました。あいにくの雨天でしたが、親子連れが多数参加。昔遊び・フラダンス・朗読・皿回しなどに興じ、子どもも大人も、「面白かった」「気持ちよかった」と笑顔でした。

午後1時から始まったあかりの会の体験コーナー。スタッフのインタビューに答えて、3歳の女兒が片言で「おばあちゃんのこと、いっぱい、いっぱい好き。好きな食べ物はキャベツ」と。5歳の姉は「わたしが好きなのはニンジン」。傍らで祖母が見守ります。この様子を別のスタッフが録音しています。(写真⑥) 朗読は来場者のほとんどが初めてなので、「ドキドキした。録音の声は自分の声とは違う気がする」とびっくりした様子です。声のテープは、来場者20人にプレゼントされました。

大正琴プリムラ会場では、14、5歳の少女が「さくら さくら」を弾いています。初めてなのに、ほとんどノーミス。スタッフは「すごい上手。私はやることがない」と驚いていました。

むかしあそび研究会の折り紙、けん玉など、うらしまたろうのバルーンアートと皿回し、おはなし糸車の大型絵本の読み聞かせ、ボランティアグループわらべの紙芝居を語る体験では、親子連れらが目いっぱい楽しんでいました。バルーンアートでは、風船をふくらませる途中「パーン」と割れ、「キャー」と悲鳴が上がっていました。

詩吟同好会・楽遊クラブ銀雅・KSCハワイアンフラ・新舞踊クラブは、各2回、20分の体験コーナーを開催、一般の人にも賑やかに参加しました。

ステージ演奏は午前10時にSCハワイアンズのフラで華やかにスタート。最後は、コーロKSCが、滝廉太郎の「花」などを歌って締めくくりました。

〈わ〉傘下では7団体が、日ごろの活動で培った円熟の技を披露しました。

地域の団体は4グループがダンス・太鼓・銭太鼓を元気一杯に披露、会場はその若い熱気で大いに沸きました。



地域交流と文化の祭典
体験コーナー初の試み

G★clefは総勢約50人で園児チーム・小学生男子・女子チームなどグループ毎に、大きく手を振り、飛び跳ね、力強いステップを次から次に披露。小学6年生の女子は「ダンスはもう7～8年続けていて、とても楽しい」と。



ステージで躍動するキッズダンス

F. TRAINのダンスチームは小学生らとママと一緒に舞台上で躍動。六甲道児童館銭太鼓クラブは、小1女兒が懸命に演技する姿が目を引きました。

北神戸太鼓団の若者代表は演技後、背中にじっとり汗をかき、「お腹に響く音ときちんと刻むリズムが最高」と太鼓の醍醐味を話してくれました。

た。小林精一・文化部長は「強い雨風の中、たくさんの方に来ていただき、大変ありがたい。体験コーナーのスタンプラリーでは、90人余りに賞品を渡すことができ、まずは成功だった」と総括していました。(取材・永野知己 岡本紘一)

◆ステージ出演＝SCハワイアンズ、KSC男声合唱団、KSCマジッククラブ、コーラス・タルミ、KSC手話ソング同好会、混声合唱団コーロKSC マ子ども団体＝G★clef、R/S DANCE SCHOOL F. TRAIN、北神戸太鼓団 Don 努鼓、六甲道児童館銭太鼓クラブ&楽遊クラブ銀雅
◆体験コーナー＝あかりの会、むかしあそび研究会、うらしまたろう、おはなし糸車、大正琴プリムラ、ボランティアグループ わらべ、詩吟同好会、楽遊クラブ銀雅、KSCハワイアンフラ、新舞踊クラブ

この事業は「独立行政法人 福祉医療機構社会福祉振興助成事業」によるものです。

功労賞に3人・2グループ決まる

グループ〈わ〉のボランティア活動に貢献のあった個人・団体を顕彰する26年度の功労賞は、別表の通り会員3・団体2グループに決定。5月15日の総会で表彰式が行われます。（広報・南形徹）

【功労会員】

増金スミ子(福11)=大道芸で慰問活動10年
松村尚雄(国11)=中国健康体操の普及
菅田忠志(生11)=ウォーキングで地域貢献

【功労グループ】

楽遊クラブ銀雅=銭太鼓演奏で施設訪問
さおり・たまも=施設でさおり織作品製作

26年度の功労賞は、3月5日までに区会・部会・個人から推薦のあった会員5人・団体3グループを対象に選考が行われました。3月25日の運営委員会で理事と運営委員（計33人）が投票。その後、活動歴や活動内容の審査を経て、4月8日の理事会で正式に決まったものです。有権者は理事・区会長・部長ら計36人で、棄権・欠席は3人。表彰制度は、23年度から始まったもので5回目。これまで個人15人、団体12グループが受賞しています。

施設訪問や地域での健康体操

【表彰会員・団体の活動内容】（敬称略）

●増金スミ子（西区会） 高齢者見守り訪問、学習支援活動、自宅を開放しての”ふれあい喫茶”などを実践しているほか、在学中に大道芸のサークル「一寸奉仕」を結成。10年にわたって各施設でボランティア活動を続けている。東北支援でも1～4次チームの一員として質の高い面白い芸を披露、被災者や子供たちに喜ばれた。県や市からも数多くの感謝状を贈られている。

●松村尚雄（長田区会） KSC在学中の平成17年、太極拳同好会を結成。卒業後は中国健康体操の普及をめざし、たんぼぼの家・観音山公園（長田区）・川崎病院などで市民や〈わ〉会員の健康づくりに貢献している。中国体操は呼吸法とストレッチを取り入れ楽曲に合わせて動く体操で、観音山公園ではすでに8年間もつづいている。

●菅田忠志（須磨区会）地域の活動グループKSC友が丘クラブを拠点に、須磨区会・自治会などと協働で講習会・子供の見守り・見学会などを実施。恐竜化石発掘などユニークな企画が好評で参加者も多い。特に平成21年から始めた月例の健康ウォーキングは、地域住民に支持され50回に達した。区会・地域に限らず一般市民にも参加を呼び掛ける活動を基本方針にしている。

●楽遊クラブ銀雅（重松豊彦代表） 平成12年にKSC卒業生で「銀雅」を結成。以後、13年にわたって高齢者施設・小学校・児童館などへ出かけ、年間100回程度のボランティア活動を続けている。レパートリーは、民謡・演歌・童謡・アニメと幅広い。伝統芸能の啓蒙のため、神戸まつり・地域イベントにも積極的に参加、児童館などで指導もしている。銭太鼓グループを集めての「100人打ち」は今や名物になっている。

●さおり・たまも（永井照子代表） 市総合療育センター・たまも園（長田区）で、園生が織った〈さおり織〉を使って、ポーチ・トートバッグ・ペンケースなどの製作を続け12年になる。平成13年にグループ結成。毎月1回、5～10人が園に集まり、ほぼ1日かかりで生地を裁断して仕上げている。作品は好評で、カレッジの学園祭、園のバザン製一などで販売している。

●【推薦のあった他の個人・団体】 杉本敦子（音6・灘区会）、田辺卓弥（音6・東灘区会）、コロむつみ

5月15日に[わ]総会

NPO法人グループ〈わ〉は26年度総会を5月15日（木）にカレッジホールで開催します。多くの皆さまの出席をお願いします。

午前10時から総会。昼食をはさんで、午後は功労会員表彰式と映画会があります。映画は『男はつらいよ・寅次郎紅の花』（平成7年）。寅さんが阪神淡路大震災の被災地、長田を訪れるシリーズ最終作。マドンナ役は浅丘ルリ子。

カレッジに桜植樹24本

開校20周年の寄付金で購入したエドヒガンサクラの植樹が2月初めまでに終了しました。カレッジキャンパスに24本、神港園など村内6施設に1本ずつの計30本。費用は91万円。寄付金は約300万円が集まっており、残りは「散水栓設置やパソコンなどOA機器の更新に充てたい」（事務局）ということです。

4月初めには、苗木数本から花がちらほら顔をのぞかせていました（1面に写真）。水やりなど今後の手入れは、グループ〈わ〉が、この4月から、2年間引き受けることになりました。夏場は週3回程度の作業になるため、北区会などの協力でチームをつくり実施します。

福祉ボランティア大会開催

6グループが交歓

福祉ボランティア大会（福祉部会主催）が1月15日午後、学習室で開催され約40人が参加しました。〈わ〉の福祉部会の活動を知ってもらい、各サークルの交流を図ろうとの趣旨で、今回が2回目。

1部は、パワーポイントを使って活動紹介。友愛訪問グループは、明生園もみじ会・一寸奉仕・クレヨン・あんだんての4つで、滝谷グループホームと、さおり・たまもの2つは、障害者の自立支援をお手伝いしています。高齢者施設での手助けは真愛ホーム介助。昨年発足したエンジェル支援の会は、手工芸作品を販売し子どもたちへの支援活動を行っています。

休憩をはさんで、2部は友愛訪問グループのパフォーマンス。明生園もみじ会の4人（宮城智子・門脇淳子・黒田宏・近森八重子さん）は、息もぴったりで、歌あり、ゲームありの多彩なプログラム。会場も一緒になって盛り上がりました。一寸奉仕からは、アンパンマンとバイキンマンに扮した増金スミ子さんと横井幸雄さんが、音楽に合わせてアンパンマンダンスを披露。魔女に扮して登場したのはクレヨンの北川景子さん。ミステリアスな語



りで笑いをとったあとは、嘉野喜代子さんの川柳クイズで頭の体操です。あんだんては、朗読からスタート。紙芝居「注文の多い料理店」では、4人（植村勝・山本麗子・片岡祥夫・東恭土さん）が、メリハリのある声色で会場を魅了しました。

3部は、会員同士のコーヒブレイク。和気あいあいの交流を楽しみました。会場前の廊下には、8グループの活動状況が写真や作品とともに展示され、来場者に福祉部会をアピール。エンジェル支援の会の即売は、「布ぞうり3点とアームカバー1点が売れましたよ」。

加藤部会長は、「交流の成果はあったが、在学生の参加が少なかったことが残念。参加してもらえるような工夫が必要ですね」と反省しきりでした。＝写真は明生園もみじ会の活動発表

（広報・井口久美子）

第3回 学習支援者の集い



平成25年度第3回“学習支援者の集い”が2月20日、31人が参加してカレッジの5・6教室で開催されました。西田委員長の挨拶、開会宣言後、2学期の活動報告がありました。

続いて事務局の田阪リーダーから市内の小学校の関係者に配布する支援内容・支援要請書類の説明がありました。

この後、教育委員会特別支援教育課の古本主事から子どもへの支援に関しての講演がありました。「子どもの行動の背景には意味があるということを知り、気になることに気づく目を持つことが大切であり、特に、目に見える障害（身体的、知的障害）、目に見えない障害（発達障害－脳の機能的な障害）の特性を理解し、適切な支援を行うこと。本当のボ

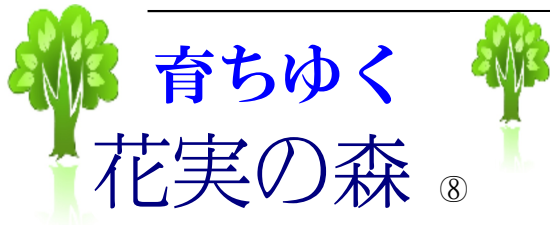
ランティアによる支援とは障害の有無にかかわらず、子ども一人一人を受け入れ、子どもの「？」を「！」にする言葉をかけたり、寄り添ったり、言葉と視覚による支持を与え、行動を引出し、目的と一貫性のある対応をすることが大事だ」という内容で、参加者は熱心に聞き入っていました。（広報・北村洋）

「お買いものサポーター」継続

須磨パティオの「お買いものサポーター」は、昨年11月と2月の試行を経て、この5月から正式に実施されることになりました。毎木曜日の10時30分～16時で、年間を通して実施。パティオライフ（小冊子）やホームページなどで、利用を呼びかけるPRもしま

す。サポーターとして、「求められているサービスは何か」を探りながら、気軽に快適に利用してもらえよう努めていきたいと話しています。





育ちゆく 花実の森 ⑧

春の森って楽しいよ

春の森ってわくわくする。落ち葉だらけだった山に、黄、白、ピンク、緑の色があふれはじめる。虫達も目覚め、あちこちから顔をのぞかせる。

春の森って楽しい！

花実の森は、去年の秋、子供たちの歓声に包まれました。今までしわがれ声しか聞いたことのない樹々達は、初めて聞く子どもたちの声に枝々を伸ばし、葉をゆらして、喜びました。この森で生まれたカブト虫の幼虫も、子供達の小さな手で、新しいふかふかの家に引っ越ししました。『大池小学校カブト虫分校』の開校でした。今年の夏は、たくさんのカブト虫が、子供たちの歓声に包まれることでしょう。さらに新しいカブトムシ分校の開校を待ちながら。



幼虫を運びカブトムシ分校づくりをする大池小の子どもたち

私たちは、月に2回、「無理せず、楽しく、出来る事を」をモットーに、花実の森の整備保全活動を行っています。

山桜が満開になったよ！

ササユリの芽が出始めたよ！

木いちごの白い花も咲きはじめたよ！

ホタルカズラの青い花がきれい！

春の森って楽しいですよ、一度覗きに来てください。やさしい木々や花々がお待ちしています。

橋野 美子 (一般)

(注) 昨夏9月、大池小の5年生が自然学習をしました。

連載「花実の森」は今回で終了します。

25年度〈わ〉の活動

【4月】カレッジ入学式 (5日)。ぎゅらりーわ62号発行。パソコン講座 (通年・人材支援センター)。バードウォッチング (29日・しあわせの村・ガイド：野鳥と自然観察の会)。学習支援の集い (30日・体験発表)。

【5月】わいわいストリート (5日・芝生広場・〈わ〉の5クラブ協力)。第10回定期総会 (15日・第1期堺執行部スタート)。功労会員表彰式 (個人3・団体4)。

【6月】春の森林浴ウォーキング (3日・菊水山コース) 地域交流会で西田・前理事長が〈わ〉の活動について講演 (18日)。

【7月】第4次東北支援チーム8人派遣 (2~6日・女川・名取・仙台の体育館・仮設・小学校・児童館・保育所へ)。ぎゅらりーわ63号発行。しあわせの村まつり (27日・芝生広場・〈わ〉の4クラブ協力)。

【8月】夏休み昆虫採集 (3~4日・ピオトープ周辺・〈わ〉の2クラブ協力)。かえっこバザール (4日・カレッジホール・〈わ〉の5クラブ協力)。和で遊ぼう (13~18日・水の科学博物館・〈わ〉の6クラブ協力)。夏休み工作塾 (18日・村の研修館・〈わ〉の7クラブ協力)。

【9月】神戸市長感謝状・社協理事長感謝状を〈わ〉の7クラブ受賞 (16日)。自然体験教室へ大池小 (25日・花実の森)。ペタンク大会 (28日・村の球技場)。

【10月】竹の台小で伝統文化体験教室 (2日・生け花・お茶・銭太鼓・大正琴)。ぎゅらりーわ65号発行。

開校20周年記念式典 (9日・グループ〈わ〉) に感謝状。〈わ〉の主催で震災支援シンポジウム=体験発表・宮城のゲスト講演・記録ビデオ上映・パネル写真展・東北物産販売。ピアノ連弾コンサート (10日・学習支援委員会)。

神戸環境奨励賞受賞 (16日・3クラブ)。グラウンドゴルフ大会 (17日・しあわせの村)。

【11月】和布リメイク講習会 (10日・環境未来館)。秋の森林浴ウォーキング (20日・裏六甲コース)。どんぐり工作教室 (24日・地域人材センター)。宮城・女川町で南形副理事長が〈わ〉の東北支援について講演 (27日) 花山小で伝統文化体験教室 (29日・生け花・お茶・銭太鼓・大正琴・着付け)。お買いものサポーター試行① (11/6~12/4・須磨パティオ)

【12月】グループ学習発表会 (12/9~2/14順次開催)

【1月】ぎゅらりーわ66号発行。講演「皆で支える介護保険」 (15日・〈わ〉主催)。福祉ボランティア大会 (15日・8団体による映像での活動紹介と4団体のパフォーマンス・福祉部会)

【2月】お買い物サポーター試行② (2/4~2/28) 学習支援の集い (20日)。G学習合同発表会 (27日)

【3月】18期生卒業式 (20日) 地域交流と文化の祭典 (30日・10団体 (内子ども団体4) のパフォーマンスと10団体による体験教室・文化部会主催)

活動レポート

中央区会 施設でマジック18年

中央区会活動の自慢の一つは、18年続くマジックボランティアです。訪問先は軽度知的障害施設「真愛ホーム」。菫合警察署近く、大安亭市場の入り口にあります。男女4人でチームを組んで毎月1回、約30人の入所者を相手に日ごろの芸を披露しています。



入所者の方々も私たちを楽しみにして

マジックを披露するスタッフ

おられる様子で、会場に入ると「待ってました」とばかりに手を振って迎えてくれます。

演技は1人15分程度。複雑なものより、赤や黄色、緑の色鮮やかなハンカチを使ったものや、仕掛けの大きいものが視覚に入り易いのか、喜ばれます。

退出時には拍手とともに「ありがとう。楽しかったわ」「待ってるよ、また来てね」。ねぎらいの言葉とともに、笑顔で見送ってくれます。私たちも感謝の気持ちでお別れします。

〈今度はどんなマジックで楽しませてあげようか〉。未熟なマジックながら、楽しみに待っていてくれる人がいる限り、これからも頑張っ続けてようと、思いを新たに帰途につきます。

(久保正志・国14)

卒業記念の梅林800本に

「梅植樹 咲いたらみてねと 子らに言い」

「梅植樹 早く咲いてと 子らは言い」

花山梅林恒例のイベント、卒業記念植樹が花山小6年生77人によって3月3日に行われました。ほどほどの寒さの下、桃の節句ならぬ、梅の節句となりました。今年の50本で

800本あまりになり、神戸一になる？植樹準備や指導の労を思いつつ、次世代が大人になり、このシルバーの活動を引き継いでいってくれればと願う気持ちです。23日には



植樹する花山小の子どもたち

私のボランティア日記

たんすの肥やし代表 藤本明美 (生17)

×月×日 毎週金曜日になるとカレッジに登校し、校舎2階エレベーター横に設置した、古着回収ボックスのチェックをしている。昨年4月から開始し回収物は全て、ホームレス、DV被害者の女性や子供など、生活弱者を支援しているNPO団体に寄付している。その重量は、今年2月には何と3トンを軽々と超えた。KSC関係者の皆様のご協力に感謝あるのみだ。

正直この量は、開始時には予想できなかった。設置するボックスは在校生の方のお邪魔？にならないようにと低いベンチ型にしてもらったが、もう少し大きく製作してもらえば良かった…と後悔することしきり。心なしか黄色いポップな棺桶に見えなくもなく、毎週ボックスを見る度にニヤリとしてしまう今日この頃である。

観梅会があり、地域の人たちを含めて約100人が梅の香りを愛でつつ、ひと時を楽しみました。学校を取り囲む見事な梅園に育ちつつある姿を、一度見に来てください。(花山梅林会・徳原尚世)

神戸国際交流フェアに参加



〈わ〉の展示を見る参加者

3月15、16日の2日間に亘って国際交流フェアが行われました。

1日目は外国人留学生によるスピーチ大会で、小学生から大学生まで将来の夢について語ってくれました。夜は交流パーティーにも参加して若返りました。

2日目はハーバーランドのスペースシアターで、ステージと展示や物品販売のお祭りです。

「グループ〈わ〉は、何冊の英語点字翻訳をやりましたか？」

クイズラリーにも参加して、ポスターの活動写真の中から答えを探すのに来客満杯の一日でした。

(柳川瀬淳一・国13)

カレッジだより



21期生の入学式

咲き誇る桜の中、第21期生395人の入学式が、4月4日午前10時30分からカレッジホールで行われました。体調を崩して欠席した今井鎮雄学長に代わり、関西学院大学元学長の武田建氏（運営委員）が祝辞を述べ、「新入生の皆さんには、大きな夢を描き、新しいことにチャレンジしていただきたい。この3年の間に交わりの輪を築き、卒業後も、この輪を大きく広げてほしい」と激励しました。コース別入学者は健福73、国際97、生環70、美工39、音文40、園芸36、食文40人。

新入生代表の石河律子（健福）さんは「学んだことを地域に還元し、みんなで支え合う社会にしたい」と決意を述べました。



音文18期生による校歌斉唱

カレッジには、9時30分ごろから新入生が続々と登校、学園生活に胸を弾ませているようでした。ロビーでは東北支援の募金を募り、各クラブは苦心の紹介パネルを背に、新入生の入部を勧誘していました。中庭ではフラダンスなどのデモンストレーションもありました。

グループ学習の合同発表会

18期生グループ学習合同発表会が2月27日、カレッジホールで開催され、卒業生や在学生500人が熱心に聞き入りました。発表は午前10時の音文専攻から始まり、昼食を挟んで園芸コースまで17グループが映像などを使って順次発表しました。ふれあいホールでは美術・工芸専攻の絵画・陶芸作品が展示されました。各コース、専攻の代表発表テーマは次の通りです。

【音文専攻】①和太鼓グループ②パーカッショングループ③合唱（全員）【生環コース】①水・この不思議な力②再生可能エネルギーの事業化と普及③駅・ひと・まち 駅からはじまる地元愛【国際コース】①ラオス織物紀行②THE PARTNERS ③神戸は、なぜパン食文化先進地となったか？【食文専攻】①きのこの食文化②おもてなし雅弁当【健福コース】①好齢者として生きる！②少子・高齢化社会を支えるロボット君③笑涯学習～笑って健康長寿【園芸専攻】①園芸18期実習あれこれ②『すいか』の栽培について

18期生358人が巣立つ

第18期生の卒業式が3月20日、カレッジホールで行われ358人が巣立ちました。式は今井鎮雄学長から各コース・専攻の代表者に卒業証書が授与されたあと、学長、来賓代表の三木孝・市健康福祉局長、在校生代表・渡辺純二さん（美工2年）の祝辞があり、卒業生代表の築山義俊さん（美工）が謝辞を述べました。このあと、参加者全員で校歌を歌って散会。個人へは各教室で卒業証書が手渡されました。



笑顔あふれる卒業生＝四方久幸（国18）撮影

コース別の卒業生は健康福祉63人、国際交流77人、生活環境78人、美術工芸36人、音楽文化34人、園芸35人、食文化35人。卒業生からはミーティングテーブル3脚とミーティングチェア18脚の贈呈がありました。

地域交流会を開催

25年度の地域交流「振り返りの会」が3月17～18日の2日間、カレッジホール・学習室で開催されました。グループ〈わ〉からも区会長8人が出席。これはカレッジの要請を受けてのことですが、これまで、ばらばらに行ってきた地域でのボランティア活動を、在校生とOBが連携を図り、合同で取り組むことを目的としたものです。今回は、挨拶程度のものでしたが、6月に開催される26年度第1回地域交流会では、区ごとに区会長から地域交流活動についての説明を行う予定です。

名器ガルネリに酔う

世界的ヴァイオリニスト・戸田弥生さんを招いてのコンサートが3月24日、たんぽぽの家2Fホールで開催され、約100人のファンが名器ガルネリの音色を堪能しました。プログラムは、イザイ：無伴奏ヴァイオリンソナタ第6番、バッハ：無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番に始まり、クライスラー：愛の喜び、マスネ：タイスの瞑想曲など10曲。ヴァイオリンとは思えない、力強い圧倒的な音量で会場を魅了。「こんなすごい音色は初めて聴いた」と口々に興奮気味の感想が聞かれました。主催はクラシック同好会。昨秋から準備にかかりやっと実現したものです。

●カレッジ事務局人事 3月31日付【退任】松島秀明（事務局長）4月1日付【新任】藤本義兼（事務局長）・三浦明美（事務局員）【転任】筒崎康孝（教務リーダー）

WAからのお知らせ



〈わ〉会員1,317人に

グループ〈わ〉の会員は、4月7日現在、132人の新しい仲間迎え、登録者は計1,317人になりました。新入会員は、昨年と比べ少なくなってきました。3月25日の運営委員会では、「募集方法の変更などを考えるべきではないか」との意見が出されました。コース別では、福祉295・国際208・生環385・美工36・音文160・園芸58・食文136・一般39人です。卒業後の人生を実り豊かにするために、〈わ〉の仲間に加わって活躍しませんか。年会費は一人1,500円です。

問い合わせは〈わ〉事務局（743-8101）へ。

講演「みんなで支える介護保険」

1月15日（ジョイラックデー）、グループ〈わ〉主催による介護講演会が、学習室で開催され、30人が熱心に学習しました。講師は神戸市介護保険事業計画担当係長・武藤剛氏と在宅支援係長・奥谷由貴子氏。介護保険利用の手続きやサービスの種類など制度の説明の後、在宅支援の実状について話がありました。「介護予防の大切さを知った」「介護度やサービスの種類が分かった」と好評でした。

●活動ガイド2014年度版発行

グループ〈わ〉の本部組織や傘下の61サークル、9区会の活動内容を解説。26年度役員名も掲載しています。新会員の勧誘や連絡に利用して下さい。5月初旬に各部会・区会に配布予定。

●フィリピン救援募金約4万6,000円

台風災害のフィリピンに贈ろうと、昨年11月からカレッジ事務局・ボランティアセンター・グループ〈わ〉が共同で実施した救援募金は、45,895円が集まり2月21日神戸市社会福祉協議会へ寄託しました。募金活動は1F事務局前に募金箱を設置、カレッジの関係者に呼びかけていたものです。ご協力ありがとうございました。

●訂正 65号「イベント予定」の中で、グループ〈わ〉の電話番号は743-8101の誤りでした。お詫びして訂正します。

●67号7月号の発行は2014年7月中旬です。

体と脳を働かせよう

しんぞう

老人介護施設に月数回訪問している。不思議なことに、施設内はスタッフの声だけが響いている。お年寄りの多くは、ロビーでテレビを眺めているのだが…対話もなく笑い声も聞こえてこない。なんとも寂しい光景である。

NHKテレビで、認知症が改善する「ユマニチュード療法」の紹介があった。認知症改善は、何時も「人の尊厳」を大切にすることにより可能だとの理論であった。具体的にはかゆいところに介助することではなく、したいことに努力しているところを補助するということだと思う。老後の不安はみな抱えている。皆「クオリティーオブライフ」を望んでいると思う。病気、認知症に如何に対応していくかを真剣に考え、自分自身が対応していかななくてはと思う。「歩くとき100から9と7を順番に引いて体と脳を働かせろ」とレポートにあった。脳を鍛えるのは無理としても、脳トレくらいは何時でもできる。ニュースや社会の動きに関心を持ち、脳を活性化したい。それが自分の「クオリティーオブライフ」だと思う。（長谷川博 生9・東灘区会）

編集後記



★ちびっ子ダンスが跳ね回り、シルバーも負けじと歌声をはりあげる…時ならぬ歓声が飛び交うカレッジの取材は楽しかった、と広報委員。小学校の空校舎に老人ホームを作る動きがあるように、「文化の祭典」も子ども＋高齢者というユニークな企画。大きく育ってほしいものです。（南形徹）

★広報担当になって、1年が経過。誌面作りにも少しは心の余裕が出てきたとはいえ、卒業式・文化の祭典・功労賞決定・入学式と、3月末から4月初めにかけて取材が殺到、どたばたと毎日が大忙し。新理事も動員して、やっと印刷・発送を乗り切りました。（井口久美子）

★18期生の卒業式取材をしながら、自分が巣立った1年前の情景を思い出しました。カレッジも開校から20年。今井学長は、ずっと私たちを導いてこられました。21年目を迎えて、より魅力あるカレッジ・グループ〈わ〉を世間に理解していただくべく、私たちも頑張りたいものです。（北村洋）

〈わ〉のメルアド＝わ本部 group_wa@wa-net.jp ぎゃらりーわ wa_gallery@wa-net.jp

グループ わ 4～6月のイベント

開催日時・場所	テーマ・協力グループと内容	連絡先
5月3日(土)～5月6日(火) 10時00分～15時00分 神戸市水の科学博物館	和(わ)と遊ぼう 昔の遊びの体験と、大道芸などパフォーマンスを鑑賞 「むかしあそび研究会、うらしまたろう、一寸奉仕、SCマジッククラブ」	078-351-4488 神戸市水の科学博物館
5月5日(月) 10時30分～15時30分 しあわせの村 芝生広場	わいわいストリート 動物風船、皿回し・ケナフの紙すき・木工工作 むかしあそび・ヤカーリング楽しもう。 「うらしまたろう、ケナフの会、むかしあそび研究会、木工クラブ他」	078-743-8092 こうべ市民福祉振興協会
6月2日(月) 10時00分～14時00分 地下鉄県庁前集合	会員親睦 緑の森林浴ウォーキング 再度山大竜寺、修法ヶ原から布引水源地まで新緑の遊歩道をのんびり歩きましょう。 「森の仲間」	078-743-8101 グループ わ

7月以降のイベント予定

7月26日(土) 15時30分～	しあわせの村まつり	しあわせの村 芝生広場
8月2日(土)～3日(日) 10時～	夏休み昆虫採集と標本づくり	しあわせの村 野外活動センター
8月5日(火)～17日(日)10時～	和(わ)で遊ぼう 夏休み工作とパフォーマンス	神戸市水の科学博物館
8月10日(日) 10時～	夏休み工作塾	しあわせの村 本館
8月17日(日) 13時～	かえっこパズール	KSC カレッジホール

●第5次東北支援チームを派遣 7月2日(水)～7日(月) 訪問先=女川・仙台・名取の仮設住宅、小学校、児童センター、保育所。 仙台豊齢学園と連携し、手料理・スポーツ大会・昔遊び・民謡などで交流する。メンバーは10人程度で、半数は5月ごろ公募の予定。(詳細は2面に)

新サークル「創エネ神戸」誕生

4月から、環境部会に新グループ「創エネ神戸」(山田通裕代表・会員8人)が誕生しました。生環18期グループ学習のメンバーが活動を継続しようと結成したものです。

再生可能エネルギーの普及活動を行うグループで、研究会・見学会への参加、カレッジなどでの啓発・普及活動と共に、モデルとなる市民協同発電所の実現も目指します。「太陽光、風力、水力発電などに関心を持つ人の入会を歓迎します」と山田代表。これでグループ〈わ〉のサークルは61団体となりました。

コーロむつみ5月31日にコンサート



西区会の合唱サークル「コーロむつみ」は5月31日13時30分から、西区民センター(なでしこホール)で10周年記念コンサートを開催します。ボランティア

先の皆さんと楽しい歌のひと時を過ごそうという趣旨で、愛唱歌や懐かしのヒット曲のほか、みんな「故郷」などを歌います。入場無料。問い合わせは児玉まで(TEL795-1745)。



雪に遊ぶビンズイ 2月12日
 ティキキャンプ場前にて ㊦
 堂坊池のオシドリ ㊧ 12月5日

堂坊池東桜林のウソ ㊦



しあわせの村の野鳥たち



冬鳥

夏鳥



キビタキ ㊦ トリム園地付近にて

4月24日



堂坊池北斜面のエゾビタキ ㊦ 9月27日



留鳥

堂坊池のウグイス ㊦ 1月18日
 蛇美池付近にて ルリビタキ ㊦ 1月16日

しあわせの村は野鳥の楽園。シジュウカラ、オオルリ、カワセミ…など1年を通して約80種が楽しめます。巣箱を設置したり、実のなる樹木を植えたり、野鳥観察会メンバーの努力もあって、年々飛来する種類も増えているそうです。ご覧の写真は、同会の堀池邦康さん(生17)が1年がかりで撮影したものです。(広報・井口久美子)

村内「野鳥ガイド」(2000円)野鳥と自然観察の会編集)をグループで販売中です。



次世代の東西名人候補6人が、話芸を競う！

東西吟選落語会 ~七夕寄席~

西：桂 雀々 / 笑福亭 三喬 / 笑福亭 銀瓶
 東：柳亭 市馬 / 林家 三平 / 三遊亭 兼好

【日時】 7月6日(日)
 [昼の部] 13:00 開場
 [夕方の部] 17:00 開演

【会場】 神戸文化ホール中ホール
 【料金】 3,500円【全席指定・税込】

割引優待
 この広告を、神戸文化ホール1階プレイガイド窓口へご持参頂きますと、本公演チケットを1割引(おひとり4枚迄)でご購入いただけます。ただし、その他の優待証とは併用できません。

神戸文化ホール
 市営地下鉄「大倉山駅」下車すぐ、JR「神戸駅」北へ10分、私鉄「高速神戸駅」北へ8分

問合せ
 チケット
 発売所
078-351-3349
 受付時間
 AM10:00~
 PM18:00

他 チケットぴあ、ローソンチケット
 CNプレイガイド などでも発売中！
 主催：公益財団法人神戸市民文化振興財団 神戸文化ホール